

全戸配布

NEW

2018年9月10日

松風台自治会 まちづくり運営委員会

## まちづくり だより No.14

### お互い様の精神を基本に

松風台自治会 会長 茂木信男

今年の夏まつりは天候にも恵まれ無事終了しました。  
多くの方々のご協力、ご参加ありがとうございました。

松風台自治会では、十数年前に近隣同士のトラブルを何とかしなければとの思  
いから「住民協定」が提起されたと思います。自分たちが「住みよい住環境づくり」  
として家を建てる時、まちづくり運営委員会が近隣住民説明会を主催し、業者と  
新しく住む方に「まちづくりの趣旨」を理解していただき、迎える側の近隣の方々と  
話し合える場を作り続けてきました。まちづくり運営委員会が第三者的な立場で  
両者の間に入ることでお互いに理解し合えてきているのではないのでしょうか。

住み続けている人とこれから住む人のコミュニティを大事に育んでいくことが松風  
台全体を住みよい街にしていくものと考えます。このような取り組みはまだ他の地  
区には少ないようです。これから20年、30年先にも安心して暮らすことができる  
ためには「お互い様の精神」を基本にして支え合う社会をつくりあげていくことと思  
います。

今後は、高齢化に伴う空き家・空き地の対応も課題です。  
松風台防災会、社会福祉協議会と共に住民協定運用に携わるまちづくり運営委員  
会はますます重要になってくるのではないのでしょうか。

～家を建てる時には まちづくり運営委員会 に連絡を～  
受付携帯電話 090-6928-3830

茅ヶ崎 松風台



## 松風台住民協定をもっとご理解いただくため

「住環境を考える会」から10年、そして住民協定が発効されて7年が経ちました。

家屋の老朽化や高齢化による二世帯化、子育て世代の転居など新築が増え、街並みの世代交代は確実に進んでいます。この間、まちづくり運営委員会として対応した事案は49件になり住民協定の重要性が高まっています。

住民協定をもっとご理解いただくためにこれまでに寄せられている主な疑問や質問につき説明させていただくことにしました。

### ◆敷地境界の距離 1m以上についての質問です

敷地境界については地震や災害などの避難時を想定し、その幅は1m以上としています。70 cm程度、また道路側では50 cm程度でいいのではないのでしょうか？

#### 住民協定 第6条 住環境維持のための配慮

- 骨子
- (1) 一戸建て専用住宅
  - (2) 二階建て以下
  - (3) **敷地境界線との距離**
  - (4) 緑化を推奨
  - (5) 周囲と調和する建物の色彩

建物と敷地境界の間には空調室外機などがあり、避難行動には1m程度の幅が必要です。当地域で発生した火災の消火活動では、隣家の一部を犠牲にしまいました。

また、地震時の屋根や窓ガラスなどの落下、積雪時の落雪で被害が生じます。

道路側の境界については落下物が道路や歩道に落ち歩行者に被害を与えることもあります。災害時には散乱した落下物が救急車、消防車の活動を妨害するためその通路確保が重要です。

### ◆建てる場合の住民協定の手順について教えてください

「近隣説明会」を行なうと聞きました。どんな内容で行われるのですか？

#### 住民協定 第9条 協定の運用

運営委員会によって運用される

手順 (1) 事前相談の受付

受付携帯番号 090-6928-3830

- (2) **近隣住民への説明会**
- (3) 委員会で「確認書」発行
- (4) 工事着工の文書を配布

新築、増改築の際に施主と業者の協力をいただき、ご近所の皆さん(向う三軒両隣と裏側三軒の5~8軒)に声をかけてご参集いただいています。

施主との(初)顔合わせ、工事内容の確認、工事中のトラブル防止対応などを話し合い、住環境維持について合意形成を図っています。

近隣説明会にはこれまでの49事案で世帯数約200軒に参加いただきました。

松風台全世帯(約600軒)の1/3を超えています。改めて住民のコミュニティの場、新しい近隣の輪が広がったとの感想が寄せられています。

これからも「まちづくりだより」で住民協定の説明や解説を継続してまいります。皆さまからのご質問をお寄せください。



最近、新築された大原様からメッセージをいただきました

私たちが松風台に住み始め1年が経過しました。私たちは、地域との交流もあり、子供にとっても住みやすい環境が整っている場所を探していました。

家を建てる前に住民協定における近隣説明会があり、そこで意見交換できたことで近隣の方の理解も得られてトラブルもなく暮らしております。

また説明会で顔を合わせていたことで、私たちもどんな方がおられるのかを知ることができ、安心してこの松風台に来ることができました。

松風台は緑やお花がたくさんあります。子供にお花の名前を教えたり、私たちも園芸に興味を持ち始めています。夏にはお祭り、冬には餅つき大会など子供から大人まで楽しめるイベントもたくさんあり、家族で楽しみにしています。

松風台は、まさに私たちにとって理想的な街です。  
この松風台で楽しく暮らしていきたいと思っています。  
今後ともよろしく願い致します。



11街区 大原 大典

## 空き家・空き地調査の状況をお知らせします

住民協定の対象となる情報を把握するため2012年から2回／年の調査を実施しています。

「空き家・空き地」調査は住民協定の情報把握のみならず、防犯、防火、防災や住環境保全の視点から建物の損壊や雑草、樹木の状態などにも目を配るようにしています。

防犯、防火、住環境保全の視点で関心をもっていただけるようお願いいたします。

2018年8月調査 空き家 10軒 …新規空き家2軒 他8軒は従来から継続。  
空き地 1件 …従来から継続。  
販売中 5軒

### まちづくり運営委員会組織

役職	氏名	備考	役職	氏名	役職	氏名
自治会長	茂木信男	2018年度自治会長	委員	橋本壽与	委員	濱口 豊
委員長	行正龍昭	2012年度自治会長	委員	岡野美知子	委員	藤井祥子
副委員長	西原義明	2006年度自治会長	委員	竹松和男	委員	高幣憲二
事務局長	小山博美	2017年度自治会長	委員	原田真弥	委員	佐伯芳夫
会計	浦嶋 稔	2017年度自治会副会長				
顧問	平原 慧	旧)「住環境を考える会」委員長				

### 松風台まちづくり運営委員会委員を募集！！

現在のまちづくり運営委員会の構成メンバーは上表のとおりです。

定例会のほかに、建築計画予定の申請により事前相談、近隣説明会などに対応します。  
これからのまちづくりを考え、活動の継続発展を図るため、運営委員を公募します。  
住民協定の推進にご理解いただける方の自薦、他薦をお願いいたします。

一昨年、松風台自治会は国土交通省住宅振興財団の「住まいのまちなみ賞」を受賞しました。その助成金を活用し七つのボランティア団体に声をかけプロジェクトを結成し活動しています。

★今年度(8月まで)の主な活動状況

## 安全で、くつろげる公園を・・・

### 松風台のバス停を使いやすく・・・



購入した器具で樹木伐採活動傘をさして待っていても大丈夫！

公園近くの有志による雑草取り  
(犬のフン対策も)



ベンチカバー製作(8脚)



西公園に掲示板を設置  
近くの住民に便利



★ まちなみプロジェクトの今後について

まちなみプロジェクトは助成金3年間に対応した活動です。

公園ベンチカバーの作製、大型時計や掲示板の設置などこれまではモノの充実が主体でした。

まちなみプロジェクトは松風台住民の連帯感の醸成をめざそうとして活動しています。公園を良くしていきたい、「ふるさと」を実感したいなど少しずつですが住民みずからの動きが始まっています。

アンケートなど住民の皆さんの意見をお聞きしながらこれからの活動を考えていきたいと思えます。

「ふるさと」を実感できるような活動も。子供参加の「みこし組み立て会」など



### ～編集後記～

この猛暑はいつまで続くものか？ 皆様のご健康を祈念しております。

さて、2012年より年2回発行の「松風台自治会まちづくり運営委員会だより」(長い)をNo.14号からリニューアルして「まちづくりだより」とさせていただきます。内容もできるだけ簡潔に読みやすいものにしていきたいと考えております。

ご意見、ご感想をお待ちしております。

事務局長 小山博美

### 発行責任者

松風台まちづくり運営委員会  
委員長 行正龍昭